

## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 52

東北森林管理局

取組名	治山事業の理解と啓発(継続)
流域名	宮城北部流域
森林管理署名	宮城北部森林管理署
実施箇所及び実施日	宮城県栗原市栗駒 平成23年10月29日、30日の両日
取組の背景及び必要性	平成20年に発生した岩手・宮城内陸地震の震災箇所復旧の様子を一般市民に見てもらい、国有林が地域住民の安全安心な生活の確保に取り組んでいることなどをPRする。
取組の内容	当初の計画では、県民を対象に参加者を募り災害復旧現場等において見学会を開催する予定であったが、3月11日の東日本大震災により取り止めたが、栗原市産業まつりにおいて、岩手・宮城内陸地震におけるこれまでの国有林内の山地災害復旧状況をPRするためパネル展示等を行った。 内陸地震の被災から復旧状況をパネル展示するとともにパンフレットを配布し、当流域の民国連携、上下流の連携強化の取組等を紹介するためパネルを展示し、また一般・子供向けに樹木当てクイズを行い治山事業の重要性及び国有林野事業の取組を広くアピールした。
国有林担当部局・役割	宮城北部森林管理署 <span style="float: right;">(企画、実行)</span>
連携協働相手先・役割	栗原市 <span style="float: right;">(企画、地域住民への情報発進、実行)</span>
取組の結果、反響、今後の課題等	地域住民に治山事業の重要性及び国有林野事業の使命をアピールし、参加者からの感想も良好だった。今後も継続してPRしていくため、イベントへの参加、他の公共施設等への展示を検討し現地見学会等を開催する。
PRの実施状況及びその期待する効果	地元自治体で実施し地域の産業の振興を図り、岩手・宮城内陸地震の震災からの復興を市内外に情報発信した。